

高知くらしの護身術

355

ワンプッシュ蚊取り剤

噴射方向に注意を

(2015年5月12日掲載原稿)

これからの季節、蚊を撃退するのに便利な蚊取り剤。誤って薬剤を身体に噴射してしまう事故が報告されており、注意が必要です。

最近では電気や火を使わず、ボタンを1度押すだけで、噴射された薬剤が長時間にわたって蚊を駆除する「ワンプッシュ式」蚊取り剤が販売されています。

これは従来の蚊取り線香やマット式蚊取りなどのように、熱や風力で薬剤を徐々に拡散させるのではなく、1日分の使用量に相当する薬剤を一押しで噴射します。

ただ国民生活センターによると、このワンプッシュ式蚊取り剤を誤って顔にかけてしまい、「両頬が赤くなり、やけどのような痛みが出た」といった事故が起きています。

現在販売されているワンプッシュ式蚊取り剤は、手に持って前方に噴射する「スプレータイプ」と、上方に噴射する「置き型タイプ」があります。事故が報告されているのは、いずれも置き型タイプでした。

置き型タイプの本体には、正しい噴射方向などについての注意書きがありません。思わぬ方向に噴射され、顔に掛かったりする恐れがあります。

事故を防ぐために、次の点に注意しましょう。

- ① 使用前に説明書をよく読み、薬剤が噴射される方向を確認する
- ② 使わない時は、誤噴射防止ロックを「LOCK」の位置にし、子どもの手の届かない所に置く。

万一、目や皮膚に薬剤が掛かってしまった場合は、説明書の指示に従って適切な処置を行ってください。それでも身体に異常が起きたら、早めに医師の診断を受けましょう。